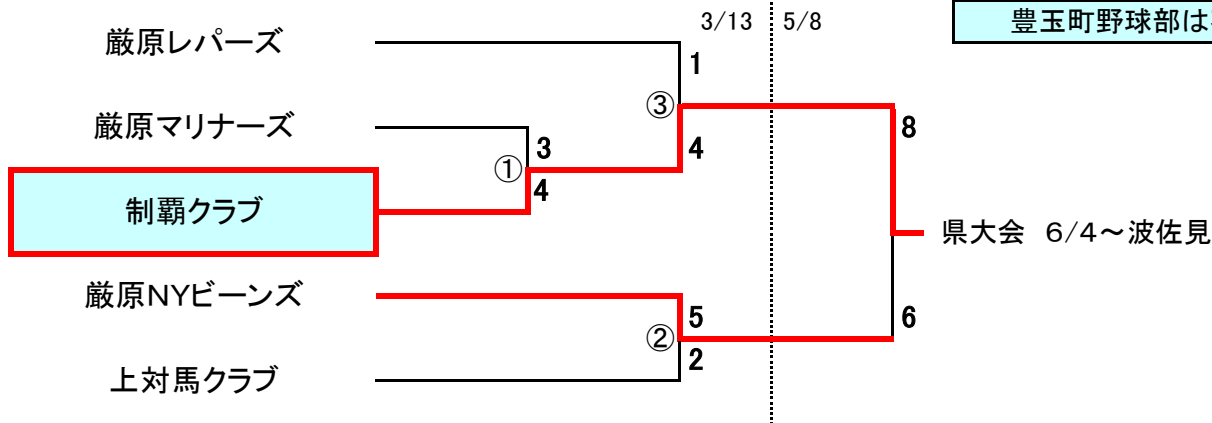


高松宮賜杯 第55回全日本軟式野球(1部) 対馬予選会

会期:平成23年3月13日(日)、5月7日(日)
会場:厳原野球場(3/13)、豊玉野球場(5/7)

豊玉町野球部は不参加



【一回戦】① 1時間19分

厳原マリナーズ	000 030 0	3
制覇クラブ	400 000 X	4

【二】三槻、小宮

制覇クラブが鮮やかな先制攻撃で挙げた4点を3投手の継投により辛うじて逃げ切った。

初回の制覇は日下部達夫がショート後方のテキサス打で出ると三槻の左越えエンタイトル二塁打で二三塁。日下部智の四球で満塁とした後に小宮が右線に2点二塁打。二死後に岡部が中前に弾いて2点を加えた。だが、その後の安打は二回の内野安打のみで四球と敵失の3走者を出しただけ。

追う厳原マリナーズは四回に先頭の黒岩が初安打し二盗も決めたが後続なし。五回に先頭の四球を足場に犠打と投ゴロで三進後に山代の左前打に三ゴロ悪送球の一三塁で二盗を捕手からの悪送球で三走が還った二死三塁に黒岩の中前打で1点差とした。だが六回は代わった糸瀬に、七回は三番手の三槻から二回とも三者凡退に抑えられた。

【準決勝】② 1時間20分

厳原NYビーンズ	201 020 0	5
上対馬クラブ	000 020 0	2

【三】武末修

【二】西山

厳原ビーンズが効果的に加点した。四球の西山が二盗と暴投で三進の二死から小田の左適時打と米田の中失により初回に2点を先取。三回は敵失から小田が内野安打の一三塁で米田の三塁ゴロの間に、さらに五回は先頭の西山が中越え二塁打。四死球の無死満塁に米田と梅野が連続適時打で着実に加点。

対する上対馬クラブは四回までに出した走者は二回先頭の中原が左前打と、三回二死後の四球のみ。五回に先頭が死球後、武末修の左越え三塁打に小島の右前打で2点を返した。六回も二死ながら一二塁と好機を迎えたが一打無く敗戦した。

【準決勝】③ 1時間29分

厳原レパーズ	100 000 0	1
制覇クラブ	000 301 X	4

初回の1点を追う制覇クは三回までに3四死球や敵失を得て毎回塁上を賑わしたが効果打が無く、四回先頭から連続四球の一三塁に杉村が中前に適時打。これを逸らして更に返球の乱れも重なって一走もかえり逆転。二死後に日下部達夫の中飛が失策を誘い、三進していた杉村も還った。六回は代わった田中の立ち上がりや杉村が右前に弾くと、次打者の時に三つの暴投があり一気に生還してダメ押し。

厳原レパーズは初回に田中がいきなり右前打。犠打と一ゴロ三進に舍利倉の左前打で先取した。その後も三四球や二安打を放つも、盗塁死や二塁を欲張っての憤死などで追加点を奪えなかった。

【厳原マリナーズ】打安点球

⑥ 鬼橋 佑介	3 0 0 0
④ 黒岩 克成	2 2 1 1
⑦ 中村 裕也	3 0 0 0
③ 神宮 大司朗	3 0 0 0
⑤ 小川 達明	3 0 0 0
⑧ 小田 拓也	2 0 0 1
⑨ 石崎 博巳	1 0 0 0
7 岩本 一也	1 0 0 0
② 白石 勝太	3 0 0 0
① 山代 毅	3 1 1 0
犠0振3残3	24 3 2 2

【制覇クラブ】打安点球

⑧ 日下部 達也	3 2 0 0
④ 15 糸瀬 勇助	2 0 0 1
⑤ 1 三槻 伸也	3 1 0 0
② 日下部 智久	2 0 0 1
⑥ 小宮 茂輝	3 1 2 0
③ 杉村 修一	3 0 0 0
⑦ 岡部 洋平	3 1 2 0
① 4 斉藤 啓太	3 0 0 0
⑨ 国分 力弥	2 0 0 0
犠0振1残4	24 5 4 2

【審判】阿比留新吾、田中、志賀、内山(レパーズ4名)

【厳原ビーンズ】打安点球

⑧ 津野 裕二	4 0 0 0
⑤ 西山 静	3 1 0 1
① 田中 宏	3 0 0 1
③ 小田 劍生	3 2 1 1
② 米田 宏之	4 2 2 0
⑨ 梅野 直樹	4 1 1 0
⑦ 川崎 貴夫	2 1 0 0
H 原田 学	1 0 0 0
7 木屋 直也	1 0 0 0
④ 木原 隆徳	3 0 0 0
⑥ 修行 武	3 0 0 0
犠0振2残8	31 7 4 3

【上対馬クラブ】打安点球

③ 武末 太	3 1 0 1
⑤ 辻 将司	4 0 0 0
⑥ 梅野 英和	3 0 0 0
① 中原 恵一	3 1 0 0
⑨ 大浦 英悟	3 0 0 0
⑦ 扇 伸秀	2 1 0 1
④ 武末 修一	3 1 1 0
⑧ 小宮 憲司	3 0 0 0
② 小島 健	3 1 1 0
犠0振3残6	27 5 2 2

【審判】神宮大司朗ほかマリナーズ4名

【厳原レパーズ】打安点球

⑧ 1 田中 淳也	3 1 0 0
⑥ 一宮 努	2 1 0 0
① 8 木屋 勝也	2 0 0 1
⑨ 舍利倉 政司	2 1 1 0
H 9 川崎 仁	1 0 0 0
③ 加治 博文	2 0 0 1
④ 志賀 慶二	3 0 0 0
⑦ 林田 芳和	3 1 0 0
⑤ 内山 歩	3 0 0 0
② 阿比留新吾	1 0 0 1
犠1振5残4	22 4 1 3

【制覇クラブ】打安点球

⑧ 2 日下部 達也	3 0 0 1
① 4 8 糸瀬 勇助	2 1 0 1
⑤ 三槻 伸也	3 0 0 0
② 1 日下部 智久	3 0 0 0
⑥ 小宮 茂輝	1 0 0 2
⑦ 岡部 洋平	2 0 0 1
③ 杉村 修一	3 2 1 0
④ 1 4 斉藤 啓太	3 0 0 0
⑨ 国分 力弥	3 0 0 0
犠0振0残6	23 3 1 5

【審判】武末太ほか上対馬クラブ4名

【決勝】 開始12:10 所要2時間01分

制 覇 ク ラ ブ	500 201 000	8
敵 原 NY ビ ー ンズ	000 000 222	6

【三】 小田

B級決勝戦にしては得点が入りすぎて大味な試合だった。規定により九回戦で七回以降7点差はコールドゲーム適用の七回表を終わって制覇が8点リード。その裏の敵原は一死後、四球に内野安打と二飛失で1点を返した後の二死一三塁に遊ゴロ失で2点目を入れコールドを免れた。八回も代わった小宮から4四球を得、押し出しに豊永の中前タイムリーで加点。更に九回には小田と米田が連打し、内野ゴロと悪送球で還り2点差まで迫ったが反撃もここまで。

初回の制覇は敵原・阿比留の立ち上がりを攻め、四球を間に連打の無死満塁に日下部智が左に2点適時打。一死後に連続四球で押し出し、斉藤が左前に2点打を放って鮮やかな先制攻撃で優位に立った。四回には先頭の敵失を足場に小宮茂以下の3連打で2点を加えると、六回も四球後に日下部智、三槻の連打で8点差としたが、七回裏の2失策により終盤は苦戦を強いられ、なんとか逃げ切った。

制覇クラブは平成17年の創部でいきなり高松宮杯2部予選会で優勝(4勝)。翌年の同予選会も3勝して連覇。19年からB級昇格したが1部予選会での優勝は初めてのこと。

なお同チームが代表として県大会出場したのは国体一般(19年)、県選手権(19年)、県体(19年、21年)、西日本1部(21年)であるが、天皇賜杯県大会への代表はない。

【制覇クラブ】 打安点球

⑧2 日下部 達也	5 1 0 0
⑥168 小宮 茂輝	4 2 0 1
③ 小宮 隆宏	4 2 1 1
②1 日下部 智久	5 3 3 0
⑤ 三槻 伸也	5 1 1 0
⑦ 岡部 洋平	3 0 0 2
④16 縫田 幸広	3 0 1 2
①4 斉藤 啓太	3 1 2 0
4 国分 力弥	2 1 0 0
⑨ 高原 吉弘	5 1 0 0

犠O振2残10 39 12 8 6

【敵原ビーンズ】 打安点球

⑧ 豊永 昇平	5 1 1 0
⑤ 松本 拓之	5 0 0 0
⑥ 小田 剣生	4 2 0 1
② 米田 宏之	4 2 0 1
⑨ 梅野 直樹	5 0 1 0
⑦ 川崎 貴夫	3 1 0 2
③ 木寺 貴志	2 0 0 0
H3 高松 宏貴	2 0 0 1
④ 斉藤 秀樹	2 0 0 0
4 田中 宏	1 1 0 1

① 阿比留 祐一 2 0 1 2
犠O振1残10 35 7 3 8

【審判】 河野繁和、上松洋、築城公則、波多野健一

個人表彰で最優秀選手賞は決勝戦で五回を投げ被安打2。一回戦のマリナーズ戦でも先発で五回を投げると、準決勝のレパーズ戦にも救援で3回から登板し勝ち投手になり、今大会3勝を挙げた高校3年の斉藤啓太が受賞。優秀選手賞は決勝戦で先制2点打を含む3安打3打点の日下部智久。敢闘賞には九回を投じて敗戦投手の阿比留祐一と、一回戦のマリナーズ戦初回に先制2点二塁打の小宮茂輝がそれぞれ受賞。打撃賞は7打数4安打(571)の小田剣生が8打数4安打の米田宏之に打数差で上回る。

※近年の高松宮賜杯1部の決勝戦戦績		県大会の結果	
55年	上対馬クラブ	3試合 ベスト4	
56年	敵原海王	1-2 上五島クラブ	
57年	豊玉クラブ	福江での県大会が雨天順延。1週間後の日程を棄権	
58年	敵原海王 7-1 上県クラブ 【九州】0-7 鹿児島新報社(鹿児島)	4-3 東彼杵町役場 2-1 轟クラブ(北高) 4-2 オール江迎(県北)	【決】2-1 県経済連(長崎) ⇒九州ブロック(鹿児島)へ
59年	上対馬ニュー北斗 4-0 敵原ボンバーズ	4-1 温泉病院(島原) 3-0 ロノ津ヤンガース(南高)	【準】0-5 轟(北高)
60年	敵原ワイズ 5-0 峰ファイターズ	2-9 西海クラブ(佐世保)	
61年	敵原海王 6-4 美津島マーシャルズ 【九州】5-0 谷口病院(宮崎) 1-5 垂水市役所(鹿児島)	7-4 闘将(佐世保) 3-2 肥前(松浦) 3-1 大村市役所	【決】6-2 舩田グループ(上五島) ⇒九州ブロック(大分)へ
62年	豊玉クラブ 3-1 敵原ワイズ ◆県大会は対馬開催で2チームが参加◆	1-5 大村市役所	◆前年の同県大会優勝の敵原海王が推薦で参加 5-10 舩田グループ
63年	〃 6-1 敵原海王	3-2 舩田グループ 2-1 中興化成(松浦) 1-0 小長井(ク)	【決】1-2NTT長崎
元年	〃 2-0 峰ファイターズ	4-1 三井楽クラブ(福江) 1-3 安中クラブ	
2年	〃 9-6 上対馬クラブ 【全国大会】6-7 桃華楼クラブ(栃木)=延長14回	4-0 菊池病院(松浦) 3-1 島クラブ(平戸) 4-3 西海クラブ	【決】3-1 全江迎 ⇒全国大会(石川)へ
3年	上対馬クラブ 4-2 峰ファイターズ	0-2 小長井クラブ(北高)	
4年	峰ファイターズ 5-4 敵原ワイズ	0-11 西九州三菱自販(長崎)	
5年	美津島マーシャルズ 3-2 〃	3-6 鹿町バンビーズ(県北)	
6年	美津島ポパイ 7-4 峰ファイターズ	1-4 小長井クラブ(北高)	
7年	上対馬ライオンズ 2-1 豊玉町野球部	2-1 佐世保市水道局	0-2 諫早信用金庫
8年	〃 1-0 敵原ファイターズ	1-0 番クラブ(佐世保) 2-0 ホワイアパッチ(松浦)	【準】2-1 ハウステンボス
9年	敵原ファイターズ 4-1 上対馬メッツ	2-6 浜屋百貨店(長崎)	
10年	大洋真珠クラブ 3-2 上対馬クラブ	2-0 東海クラブ(吉岐) 0-3 大村市役所	
11年	敵原レパーズ 8-5 敵原マリナーズ	0-6 松石電設(諫早)	
12年	〃 1-0 〃	2-6 飯盛クラブ(北高)	
13年	〃 6-2 〃	4-5 三井楽クラブ(福江)	
14年	豊玉町野球部 3-0 峰ファイターズ	5-0 エンゼルス(佐世保) 5-0 若松(上五島)	【準】0-5 たちばな信金
15年	〃 2-1 敵原マリナーズ	0-4 吾妻町体協(南高) 4-2 九電長崎	【準】2-3 TEAM橋口(大村)
16年	〃 4-0 敵原レパーズ	豊玉が辞退。レパーズが代理出場。0-16 たちばな信金(諫早)	
17年	敵原マリナーズ 7-0 敵原ブラックタイガース 【全国大会】0-9 クライム(静岡)	2-1 生月体協(県北) 2-0 御厨ベイスターズ(松浦)	【決】3-1 ニューインペリアルレッズ(大村) ⇒全国大会(兵庫)へ
18年	敵原NYビーンズ 4-0 敵原マリナーズ	0-3 轟クラブ(諫早)	
19年	〃 9-6 上対馬クラブ	0-7 県支払基金(長崎)	
20年	敵原レパーズ 棄権 制覇クラブ	0-7 彼杵スラッガーズ(東彼)	
21年	〃 6-0 〃	1-3 西龍クラブ(平戸)	
22年	敵原NYビーンズ 5-1 上対馬クラブ	4-5x (延長8回無死満塁制・逆転サヨナラ) 松浦ベイスターズ	
23年	制覇クラブ 8-6 敵原NYビーンズ		